

ふくしまスタディツアー2020

～原子力災害後を共に生きる～ 参加者募集

東日本大震災から来年で10年を迎えます。原子力災害の被災者は未だに生活再建の見通しが立たず、被災地の復興はまだまだ長い時間を要します。しかし、国民の関心は薄れ、原子力災害そのものが風化することが懸念されます。

福島第一原発事故の被災地の「今」を知り、多様な被災者、避難者の「今」を聴き、原子力災害後を生きる私たちは、いかにあるべきか共に考える機会を設けました。ふくしまスタディツアー2020の参加者を募集します。

【主催】

大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター（未来共生プログラム）
大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

【日程】

事前学習 2020年10月30日（金）17:00～20:30

11月13日（金）17:00～18:30

現地訪問 2020年11月19日（木）～21日（土）2泊3日

★旅費は大学がすべて負担します。

【事前学習】

- ・証言ドキュメンタリー映画「福島は語る」の鑑賞
- ・福島の復興について（福島県庁@オンライン）

【現地訪問】

- ・被災地視察（双葉町、富岡町）
- ・廃炉資料館、東日本大震災・原子力災害伝承館の見学
- ・被災者の「今」を聴く（双葉町民、富岡町民、いわき市民）

他

*詳しくは募集要項を確認してください

【募集対象・人数】

人間科学研究科院生5人程度、全学部生3人程度

【募集期間】

2020年10月14日（水）～10月23日（金）

【応募条件】

全行程（事前学習を含む）に参加し、志望動機（400～800文字程度）を募集期間内に提出すること。なお、応募にあたって指導教員の許可を得てください。応募多数の場合は選抜します。

【問い合わせ・応募用紙提出先】

未来共創センター（人間科学研究科 東館105）

担当：石塚裕子 (y-ishizuka(アットマーク)hus.osaka-u.ac.jp)

